

科目名	哲学から考える医療 — 倫理と人間理解の探究
-----	------------------------

担当 責任者	石川洋子	所属	看護学部	職名	講師
-----------	------	----	------	----	----

到達目標 (アウトカム)	<ul style="list-style-type: none"> ・医療における根源的な問い（いのち、身体、他者、死など）に向き合うことができる ・哲学的な思考方法（問いを立てる、概念を吟味する、対話する）を理解し活用できる ・医療現場で直面する倫理的ジレンマに対して、多角的に考えられる ・医師としての自己理解と責任意識を深めることができる ・自らの考えを論理的に言語化し、他者と共有できる
-----------------	---

【1. 授業概要】

本授業では、哲学の視点から医療を見つめ直し、「いのち」「身体」「他者」「死」などの根源的なテーマについて考察する。医療における判断や行為の背後には、価値観や人間観が深く関わっており、それらを問い直すことは、将来医師として行動するための重要な基盤となる。

授業は主として講義と対話を組み合わせて行う。講義では、医療と関わりの深い哲学的な考え方や概念を、具体的な医療場面や事例と結びつけながら紹介する。あわせて、短いテキストや問いを手がかりに、学生同士の意見交換や全体での討議を行い、多様な視点から考える機会を設ける。

専門的な哲学理論の体系的理解を目的とするのではなく、問いを立て、概念を整理し、自らの考えを言語化する経験を重視することで、医療における倫理的感受性と内省的な思考力を養う。

【2. 履修学生の心構え】

本授業では、正解のない問いに向き合い、自ら考え、他者と対話する姿勢が求められます。哲学に初めて触れる学生も歓迎しますが、授業で扱う内容は専門的な哲学理論の習得を目的とするものではありません。医療の専門知識よりも、「人間とは何か」「よい医療とは何か」といった根本的な問いに関心を持ち、自分なりの考えを言葉にしようとする意欲が大切です。

【3. 成績の評価方法・基準】

成績評価は、筆記試験および授業への参加状況を総合的に評価する。
 筆記試験（70%）では、授業で扱ったテーマや概念についての理解を確認するとともに、医療に関わる倫理的課題や問いに対して、自らの考えを論理的に記述する力を評価する（記述式）。
 授業への参加・貢献度（30%）は、事前に提示するループリックに基づき評価する。授業内の討議や意見交換への参加状況、問いに対する発言やリアクションを通じて、主体的に考えようとする姿勢を評価する。発言の量だけでなく、内容や他者の意見を踏まえた関わり方を重視する。

【4. 教科書・参考書】

特定の教科書は指定しない。授業内容の理解を深めるため、別途書籍・資料を参考として紹介することがある。必要な資料や定義については、授業内で配布・説明する。

【5. その他 履修要件、履修者へのコメント等】

--

授 業 計 画 【 水 曜 開 講 分 用 】

実施日	時限	講義・実習内容	担 当 教 員		
			氏 名	職 名	所 属
4/15	水 5	哲学とは何か：医学と哲学の関係を確認し、「問いを立てる」とはどういうことかを考える。医療における判断や常識を支えている前提に目を向ける。	石川洋子	講師	看護学部
4/22	水 5	命とは何か：「生命」とは何を意味するのかを、生物学的理解と価値的理解の違いから考察する。医療における「自然／人工」の境界について検討する。	石川洋子	講師	看護学部
5/13	水 5	身体と医療：病む身体・治療される身体に注目し、医療が身体をどのように捉えてきたかを考える。身体を「対象」として扱う視点と「生きられた身体」の視点を比較する。	石川洋子	講師	看護学部
5/20	水 5	他者と痛み：患者の痛みや苦しみをどこまで理解できるのかを問い、「共感」の可能性と限界について考える。他者と向き合うことの倫理的意味を検討する。	石川洋子	講師	看護学部
6/10	水 5	自由と責任：医師の判断や選択に伴う自由と責任について考える。正解のない状況で意思決定を行うことの重さと意味を検討する。	石川洋子	講師	看護学部
6/17	水 5	死と尊厳：人はどのように死を迎えるべきか、医療は死にどう関わるべきかを考える。死生観や尊厳の概念を手がかりに、終末期医療の課題を検討する。	石川洋子	講師	看護学部
6/24	水 5	倫理的ジレンマとは何か：医療において価値や原則が衝突する状況を取り上げ、「なぜ迷いが生じるのか」を考える。具体的な事例を用いながら、判断の前提や考え方の枠組みを整理する。	石川洋子	講師	看護学部
7/1	水 5	哲学的対話：授業全体を振り返り、問いを共有しながら対話を行う。自分自身の医療観・医師観について考えを整理する。	石川洋子	講師	看護学部

↑
 1
 2
 3
 4
 全
 8
 回
 5
 6
 7
↓
 8